

2019年度

韓国派遣留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：8月31日（土）～12月26日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018124
湯田真子

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	
4-1	留学のスケジュール	4
4-2	留学の詳細	7
5	所感	8
6	終わりに	8
	謝辞	8

1 留学先及び留学期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

留学期間：令和元年 8 月 31 日（土）～令和元年 12 月 26 日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

1949 年に創立された慶熙大学校は幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた名門私立大学で、現在ソウル、水原（スウォン）、光陵（クァンヌン）の三か所に 20 余りの学科（部）が設置されておりキャンパスを備えている。数ある大学の中でも、特に韓国語教育に力を入れている。韓国語を学ぶための機関である国際教育院（私たちが学んだ校舎）はソウルキャンパスと水原キャンパスの二か所にある。「大韓民国政府招請外国人奨学生プログラム」の韓国語研修機関として選定され、毎年 40 カ国から来る 1200 人以上の留学生在が韓国語を勉強している。

(2)大学で行われている教育について

国際教育院の授業は沢山のクラスがあり 1 クラス当たり約 10 人程度の少人数で行う。留学生的のためにキョンヒ大学校の韓国人学生が韓国語の学習や生活をサポートする「トウミ制度（チューター）」が充実している。留学生 1 人につきキョンヒ大学の韓国人学生が紹介してもらえ、1 対 1 で韓国語学習や会話の上達の手伝いをしていただける。

3 留学目的

主な目的は二つある。一つ目は韓国語能力の上達である。ただ日本で学ぶのではなく韓国に行き、現地の環境に触れながら徐々に語力を上達させたいと思ったからだ。やはり共通語は韓国語であるから韓国語を使用する機会は日常茶飯事だ。その中で上手く溶け込み、韓国語を身に着けたいと考えたからだ。

二つ目は心の成長である。四ヶ月という長い期間実家を離れたことがなく、ましてや外国でなんて暮らしたことはなかった。だから今回のこの経験は自立といった面でよい経験になるのではないかと考えた。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	31 (土)	出国	到着、入寮
9	1 (日)	買い出しなど	
	2 (月)	オリエンテーション	
	3 (火)	韓国語 (初級 I)	韓国事情 (特講)
	4 (水)	韓国語 (初級 I)	セミナー
	5 (木)	現地学習 (ロッテワールド、水族館)	
	6 (金)	韓国語 (初級 I)	
	9 (月)	韓国語 (初級 I)	映像韓国語
	10 (火)	韓国語 (初級 I)	セミナー
	11 (水)	韓国語 (初級 I)	韓国事情 (特講)
	12 (木)	チュソク (秋夕休み)	
	~15		
	(日)		
	16 (月)	韓国語 (初級 I)	映像韓国語
	17 (火)	韓国語 (初級 I)	セミナー
	18 (水)	韓国語 (初級 I)	韓国事情 (特講)
	19 (木)	現地学習 (N ソウルタワー)	
	20 (金)	韓国語 (初級 I)	
	23 (月)	韓国語 (初級 I)	映像韓国語
	24 (火)	韓国語 (初級 I)	韓国事情 (特講)
	25 (水)	韓国語 (初級 I)	セミナー
	26 (木)	韓国語 (初級 I)	韓国の歌
	27 (金)	韓国語 (初級 I)	
	30 (月)	秋学期説明会	映像韓国語
10	1 (火)	オリエンテーション	セミナー
	2 (水)	韓国語 (初級 II)	韓国事情 (特講)

	3 (木)	開天節 (祝日)	
	4 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	7 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	8 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	9 (水)	ハングルの日 (祝日)	
	10 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
	11 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	14 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	15 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	16 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国事情 (特講)
	17 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
	18 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	21 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	22 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	23 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国事情 (特講)
	24 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
	25 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	28 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	29 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	30 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国事情 (特講)
	31 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
11	1 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	4 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	5 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	中間考査
	6 (水)	中間考査	
	7 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
	8 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	11 (月)	現地学習 (南怡島)	
	12 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	13 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国事情 (特講)
	14 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌

	15 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	18 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	19 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	20 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国事情 (特講)
	21 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
	22 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	25 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	26 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	27 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国事情 (特講)
	28 (木)	韓国語 (初級Ⅱ)	韓国の歌
	29 (金)	韓国語 (初級Ⅱ)	
12	2 (月)	韓国語 (初級Ⅱ)	映像韓国語
	3 (火)	韓国語 (初級Ⅱ)	セミナー
	4 (水)	韓国語 (初級Ⅱ)	
	5 (木)	期末考査	
	6 (金)		
	9 (月)	韓国遊び授業	映像韓国語
	10 (火)	ドラマ鑑賞など	セミナー
	11 (水)	修了式	韓国事情 (特講)
	12 (木) ～19 (木)	韓国語能力試験 (TOPIK) 対策特別授業	
			韓国事情 (特講)
	20 (金) ～25 (水)		
	26 (木)	退寮・帰国	

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 入校式

国際教育院で先生方のご紹介とオリエンテーションがあった。その後、10月からの授業（初級Ⅱ）のクラス分けテストを行った。

ii) 韓国語の授業

午前9時～午後1時までの4コマだった。9月は国際情報大学のみで初級Ⅰの授業を行い10月からは世界各国の人々と一緒にクラスになり初級Ⅱの授業を受けた。授業は午前と午後に分かれていて、1、2時間目は文法、3、4時間目はリスニング、スピーキングを勉強した。12月の終わりの方には国際情報大学だけのTOPIK対策特別授業も受けた。

iii) 現地学習

ロッテワールドやNソウルタワーや南怡島へ行った。普段なかなか行けない観光地を存分に味わえる良い機会だった。クラスのみんななどの良い思い出が出来た。

iv) 映像韓国語

韓国のドラマを鑑賞して先生が用意して下さった台本通りに自分たちで演じてみたり、自分たちで実際に一から台本を考えてオリジナルドラマを作った。

v) セミナー

単語テストを行ったり、グループに分かれて自分たちで考えたテーマを基にパワーポイントを作り発表したりした。

vi) 韓国の歌

グループに分かれて好きな韓国の歌手の歌を選び、その歌についての詳細を調べて発表したり、歌ったりした。

vii) 特別講義

韓国の文化に触れあう授業である。様々な貴重な体験をさせていただいた。例を挙げると、景福宮で韓国の民族衣装・チマチョゴリを着たり、韓国料理（プルコギ、チャプチェ）教室、博物館でハンコづくり、NANTAという公演を見たりした。

viii) 修了式

学期の修了の際にクラウン館という場所で行われた。成績優秀者は表彰されていた。

ix) 自由研修

学校の授業が終わり、帰国するまでの期間である。その間に郵便局に行き荷物を日本に送ったり帰国のための荷造りを行ったりした。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

まず、韓国語能力上達についてだが、個人的にとっても成長できたなど実感できた。留学に行く前は発音などおぼつかない箇所が多々あったが、授業で何回も練習したり日常生活で使用するうちに自然と身についていった。

次に、成長について。思いもよらないハプニングは沢山あった。だが国際情報大学のみんなとうまくコミュニケーションをとりながら解決策を練って身の回りの管理などを確実にを行い、徐々に自立することが出来た。

6 反省・課題

今回の経験は自分の成長を感じられる良い機会になったが、一つ心残りな点がある。それは、もう少し積極性をアピールすべきだったということだ。グループトークであまり意見を出せないということがよくあった。自分自身、元々あまり前に出るタイプではないということもあるが、でもチャンスは沢山あったからもう少し勇気を出して様々なことに取り組むべきだったなど深く反省している。

謝辞

今回4ヶ月間、慶熙大学で優しくサポート・指導して下さったキム・ウンジョン先生をはじめとする国債教育院の先生方、その他大勢の方々に深く感謝申し上げます。また、留学前の準備の関係で手厚くサポートして下さったシン・ウンジュ先生、吉澤文寿先生に感謝申し上げます。新潟国際情報大学からいただいた奨学金を使わせていただき今回の留学という貴重な経験に参加することが出来ました。心より感謝致します。



